令和７年度　第３回徳島県立阿南支援学校
学校運営協議会〈記録〉

１　日　時　　令和８年２月１６日（月）１０：００～１１：３０

２　場　所　　徳島県立阿南支援学校 １階　会議室

３　参加者　　学校運営協議会委員、学校関係者（教頭、各学部長）

４　日　程　　１０：００～１０：１０　開会、日程確認
　　　　　　　１０：１０～１１：２０　協議「学校評価について」
　　　　　　　１１：２０～１１：３０　諸連絡、閉会

５　記録
【協議】学校評価の報告
スライドに沿って説明した。
説明者：小学部（小学部長）・中学部（中学部長）・高等部（高学部長）
　　　　各課（A 教頭）
委員からのご意見・ご感想

E 委員　「拡大進路相談会や進路説明会について、具体的にどんなことを説明したり保護者の方からどんな意見が出ていたのか教えてもらえたら。」

高等部長　「拡大進路相談会は高等部２年生を対象に実施している。３年生になると実際に進路を決めるときになるので、具体的にどのような進路に進みたいかを本人・保護者のニーズに沿って進められるよう会を開いている。そこに卒業後お世話になるであろう相談支援事業所や役所の福祉担当、就業･生活支援センターにも参加していただいている。校内実習や現場実習・施設実習などの就業体験を踏まえての要望を聞いたうえで、卒業後の準備を進めていっている。」
「進路説明会については、保護者対象に実施している。高等部の進路指導がどのようなことしているのか、入学から卒業までの流れを説明している。保護者の方、特に１年生の方からは質問をよくいただくので、ひとつひとつ説明させていただいている。」

E 委員　「危機管理対策の災害用品について、使用期限や消費期限の過ぎたものについては廃棄するというのはもったいないのでは。何か有用できないか。」

校長　「これまでは点検が十分にできていなかったものが、今回点検するようになった。地域の防災協議会にも一緒に見てもらい、地域や県の倉庫も整理整頓しなければという話になった。」

「成果としては、点検したことで足りないものを補充できたこと。水はまた違った場面で使うことができる。」

D 委員　「異学部間の読み聞かせはどういうスタイルで実施しているか」

小学部長　「高等部生徒が、小学部３クラスに実施している。」

F 委員　「読み聞かせるだけでなく、小学部の生徒が聞いた後に質問するなどしてはどうか」

C 委員　「各学部の中で読書に親しむとは、どのような教育活動を行っているのか」

高等部長　「高等部にフリースペースというのを設置して、誰でも自由に入ってこられる場所にしている。そこで、図書カウンターを週２回開き、本の貸し出しを行っている。これは高等部生徒が図書委員会として役割を担っている。また、図書委員会で古い本を仕分けして、図書譲渡会を実施した。」

B 教頭　「本校の委員会活動の中の図書委員会で、本のバーコードを読み取りながら、貸出期間をつくって貸し出している。それとともに、「本に親しもう」という通信に生徒オススメの本を紹介している。これはさくら連絡網で配信している。」

［安心して通える学校づくり　不登校の生徒に対して］

C 委員　「学校に登校しづらい児童生徒に対して具体的にどのような取り組みをしているか」

高等部長　「地域の中学校から入学されたお子さんで、もともと学校に通えていなかった人も入学してこられます。その場合には、家庭訪問をして保護者と連携を取ったり、クラスの中に登校しやすい雰囲気を作ったりして登校を促している。実際に、２名の不登校の生徒は、年度途中から登校状況が改善されてきた。また、家庭の状況で登校の促しが弱い場合には、ご家庭に対して働きかけをしたり、面談を重ねたりしながら登校を促す取り組みを行っている。ただ、全てがうまくいくというわけではなく、粘り強く取り組んでいるというのが現状。」

B 教頭　「不登校という扱いは、年間で３０日欠席すると不登校と認定されるラインがある。中学校時代、ほぼ学校に行けていなかったお子さんが、入学後、友だちとこう関わればいいんじゃないかという芽生えが生まれている。年間の日数を数えると３０日以上欠席しているが、特に後期からの登校状況をみるとこれだけ変われるんだというぐらい学校生活を楽しめている生徒が何名か見られる。」

D 委員　「タブレットは家に持って帰っているか。持って帰っているのであれば、不登校のお子さんもオンラインで授業を一緒に受けたりできるのでは。不登校の相談を受けることがあるが、何の問題もないのに登校に繋がらない。何か興味のあることを共有することで登校するきっかけになるのでは。」

B 教頭　「そのような場合、家に居て困り感が感じられていない場合が多い。生徒同士ゲームの中などで繋がっていて孤独感も感じていない。そういったお子さんに何とか興味を持てる活動、例えば身体を動かすのが好きな場合にはバスケットボールの活動をとおして登校を促している。」

［いじめのアンケートについて］

C 委員　「いじめのアンケートは年何回行っているか。また、それ以外にも相談は受けているか。」

B 教頭　「いじめのアンケートは年３回実施している。それ以外にも個別に相談を受ける場合がある。それについては、担任が入って対応している。」

［**PTA** の **HP** について］

D 委員　「活動内容を紹介してもいいのでは。」

E 委員　「PTA として HP を更新できていない。」

校長　「PTA タイムズを HP に載せたらどうか。」

E 委員　「現状、PTA のなり手がいなくて困っている。PTA が何をしているのかわからない中で役員を受けることに拒否感がでている。HP で紹介することで、PTA に興味を持ってもらい、楽しく前向きに活動してもらえるようにしたい。」